

2015年度（平成27年度）

重点政策

【実績まとめ】

福山市

にぎわい しあわせ あふれる躍動都市 ～ばらのまち 福山～

2015年度（平成27年度）重点政策一覧（目次）

（単位：千円）

柱立て	施策名	分野					事業費 決算額 (再掲分含む)	内訳		ページ
		教育	環境	活力	福祉	安心 安全		決算額	再掲分	
人口減少対策				○	○		36,254	16,002	20,252	1
連携中枢都市を核とする新たな広域連携(連携中枢都市圏構想)		○	○	○	○	○	164,475	163,038	1,437	3
協働の更なる深化				○			32,041	32,041		5
チャレンジ！100周年	100万本のばらのまちづくりの推進			○			210,572	210,572		6
	福山駅周辺を中心市街地の魅力の創出			○			300,104	138,691	161,413	7
	里山里地の再生・保全		○	○			27,437	27,437		8
	環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案	○	○	○	○	○	472,149	363,914	108,235	8
	いきいき環境・健康スローライフ	○	○	○	○	○	(37,786)	(30,140)	(7,646)	9
	環境にやさしく活力ある地域社会の構築	○	○	○	○	○	(434,363)	(333,774)	(100,589)	10
	21世紀を担う人材育成	○				○	2,729,097	2,643,257	85,840	11
	“持続可能なまち”を創るための人材育成ネットワーク	○	○	○	○	○	11,987	8,836	3,151	12
小計	8件							3,603,788		
市民の自立と参画	市制施行100周年記念事業の推進			○			172,900	172,900		13
文化財の保護と活用	鞆地区町並み保存	○					53,322	53,322		14
鞆地区の再生・活性化	鞆地区まちづくりの推進	○		○		○	242,662	156,918	85,744	15
都市ブランドの創出と発信	都市ブランド戦略の推進			○			34,071	34,071		16
	戦略的な観光振興		○	○			16,997	10,992	6,005	17
効率的・効果的な行政運営の推進	公共施設サービスの再構築			○			—	—		18

(単位:千円)

柱立て	施策名	分野					事業費 決算額 (再掲分含む)	内訳		ページ
		教育	環境	活力	福祉	安心 安全		決算額	再掲分	
地域の活性化	競馬場跡地利活用の推進			○			73,924	73,924		19
	産学官連携の推進			○			7,168	7,168		20
	スマートIC(インターチェンジ)の整備			○			105,071	105,071		21
	活力とにぎわいあふれる港づくり			○			5,467	5,467		22
消防・救急体制の充実	消防・救急体制の整備					○	449,120	449,120		23
災害に強いまちづくり	上下水道施設の耐震化					○	581,428	581,428		24
	市街地の浸水対策					○	777,848	777,848		25
安心・安全な給水の確保	出原浄水場の更新					○	446,256	446,256		26
市民の安全対策	防犯環境の整備					○	39,096	39,096		27
	歩道・自転車走行空間の整備		○		○	○	332,452	332,452		28
小計	16件							3,246,033		
合計	24件							6,849,821		

柱立て:〇〇

(決算額: 千円)
(うち, 再掲分 千円)

担当課: 〇〇局〇〇部〇〇課

期 間	___年度 (平成__年度) ~ ___年度 (平成__年度)	数 値 目 標	
		数 値 実 績	
		(2015年3月末)	

【2015年度 (平成27年度) に取り組んだこと】



【成果】

○決算額

決算額は、前年度から繰り越した事業費の決算額と当年度事業費の決算額の合計を表示しています。

○再掲分

他の施策に掲載されている事業のうち、当該施策に関係があるものについては、「再掲分」として決算額を計上しています。

人口減少対策(決算額:36, 254千円)

(うち、再掲分 20, 252千円)

担当課：企画財政局企画政策部企画政策課
経済環境局経済部産業振興課
保健福祉局福祉部福祉総務課
保健部健康推進課 児童部保育課 ほか

【2015年度(平成27年度)に取り組んだこと】

全国的に進行する急激な人口減少への対策として、「自然減の抑制」、「社会減の抑制」、そして「地域経済の活性化」の3つの側面において、結婚・出産・子育てから、定住促進、まちのにぎわいと活力の創出、安定した雇用の創出の場の確保まで、総合的に施策の推進に取り組みました。

自然減 の 抑制

(1) 生み・育てやすいと思えるまち

○結婚・妊娠・出産の支援

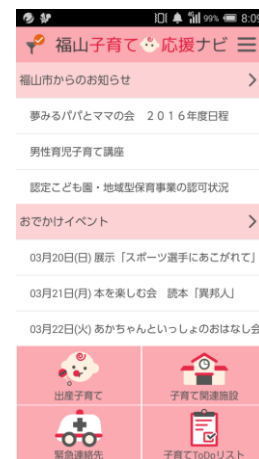
- ・若者の結婚を応援するボランティア“ふくやまde愛サポーター”の結婚支援活動や独身者同士の出会いのきっかけを提供する交流イベントを開催しました。
- ・一般不妊治療に要した費用の一部を助成することで、経済的負担の軽減を図りました。

○子育て支援

- ・福山市内の施設の場所・イベントの検索に特化したポータルサイト「福山子育て応援ナビ(通称:ふくナビ)」を開設しました。
- ・妊娠中の家庭を対象とした「夢みるパパとママの会」や父親の育児参加を促す「男性育児講座」などを開催しました。
- ・女性ならではの視点から意見を聴く「ふくやま女性テラス」の創設や女性の再就職支援セミナー等を開催しました。



【交流イベントをきっかけに成婚】



【ふくナビのトップ画面】



【夢みるパパとママの会(沐浴)】



【女性の再就職支援セミナー】

社会減
の
抑制

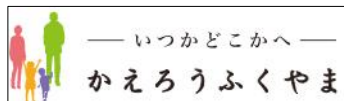
(2) 住んでみたい・住み続けたいと思えるまち

○移住・定住の促進

- ・本市の概要や生活に関する魅力など、移住に関する情報をまとめたガイドブック「ふくやまの暮らし」（全世代対象版，子育て世代サポート版：各1,500部）を作成しました。
また、本市の移住・定住に関する情報を集めたウェブサイトを開設しました。
- ・若年者の就職支援（※再掲）
- ・U I J ターン就職の推進（※再掲）



【移住ガイドブック
「ふくやまの暮らし」】



【移住・定住に関する情報
を集めたウェブサイト】

地域経済
の
活性化

(3) 働いてみたい・働き続けたいと思えるまち

- ・地場水産物の6次産業化，消費拡大などによる漁業所得向上に向けて，ワカメの試験養殖・収穫体験のほか，地魚のブランド化に向けた取組を推進しました。（※一部再掲）
- ・林業振興にかかる調査研究（※再掲）
- ・女性の創業支援（※再掲）



【ワカメの収穫体験】

【成果】

- 結婚・妊娠・出産や子育てへの支援など，自然減の抑制に向けて少子化対策の取組が進んでいます。
- 移住希望者や若者への就職支援に取り組むとともに，本市の暮らしの魅力や移住のための情報などと効果的に発信することにより，定住・移住の促進につながっています。
- 6次産業化や創業の支援など，地域経済の活性化に向けた取組が進んでいます。

連携中枢都市を核とする新たな広域連携(連携中枢都市圏構想) (決算額:164,475千円)(うち、再掲分 1,437千円)

担当課：企画財政局企画政策部企画政策課
経済環境局経済部産業振興課

ほか

【2015年度(平成27年度)に取り組んだこと】

備後圏域6市2町(福山市, 三原市, 尾道市, 府中市, 世羅町, 神石高原町, 笠岡市, 井原市)が連携し, 人材育成や地域資源の活用に向けた基礎調査など, 「豊かさが実感でき, いつまでも住み続けたい備後圏域」の実現に向けた土台づくりに取り組みました。

圏域づくりの 基本方針

主な取組内容

○圏域全体の産業振興の仕組みづくり

- ・産業連関表の作成を通じて圏域の産業構造を分析するとともに, 産業連関表に係る勉強会を行いました。

○中小企業事業者等への支援

- ・女性創業セミナーや就職支援セミナーなどを開催しました。
- ・圏域共通の地域資源である「デニム」の基礎調査を行うとともに, デニム産業のPRマップを作成し, 圏域一体となった情報発信を行いました。

○第一次産業の活性化

- ・林業振興に係る調査研究を行いました。
- ・瀬戸内の地魚のブランド化に向けた取組を推進しました。
- ・酒類製造免許取得に係る規制を緩和する「備後ワイン・リキュール特区」を取得しました。

○戦略的な観光振興

- ・備後圏域の認知度向上等のため, 広域観光ルートなどの検討を行いました。

産業

圏域全体の 経済成長の けん引



【女性創業セミナー】



【デニムマップ】

都市機能

高次の
都市機能の
集積・強化

○高等教育機能の充実や強化

- ・備後圏域内の大学などと共同で、「知の交流拠点としての大学等の公開講座」を開催しました。（参加者数 112人）
- ・国際社会で活躍できる人材を育成するため、グローバル人材育成事業実施協議会を立ち上げました。



【知の交流拠点としての大学等の公開講座】

○医療や福祉サービスの充実

- ・地域包括ケアシステムの構築に向け、医療機関、介護事業者、地域住民を対象とした先進事例等を学ぶ講演会などを開催しました。（チャレンジフォーラム参加者数 580人）
- ・福山市の子育て応援センター「ことばの相談室」において、保育士等を対象に障がい児保育・特別支援教育の研修を実施し、子どもの発達支援に携わる職員の育成に取り組みました。（参加者数 232人）

○広域化による住民サービスの向上

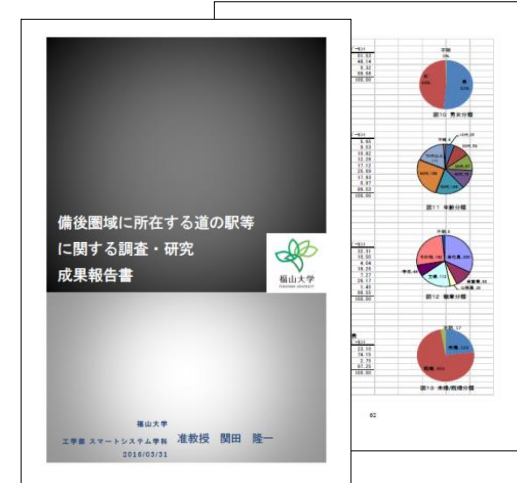
- ・中海・宍道湖・大山圏域と災害時の相互応援協定を締結しました。

○地域活性化の推進

- ・道の駅等のネットワーク化に向けた基礎調査を実施しました。

○圏域マネジメント能力の強化

- ・自治体職員の資質向上のため、管理者を対象に合同研修を行いました。



【道の駅等の基礎調査】

住民サービス

圏域全体の
生活関連機能
サービスの向上



【成果】

- 各種セミナーの開催などにより、圏域の発展を支える人材の育成などにつながっています。
- 備後圏域の産業構造や地域資源に係る調査の実施など、効果的な連携事業を実施するための土台づくりに取り組みました。
- 瀬戸内の地魚をブランド化していくための仕組みづくりが進んでいます。
- 備後圏域を周遊する、テーマ性・ストーリー性を持った魅力ある広域観光ルートづくりが進んでいます。

協働の更なる深化(決算額:32,041千円)

担当課：市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課
経済環境局文化観光振興部文化課

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

(1) 市民協働による文化施設の運営

- ・松永はきもの資料館（あしあとスクエア）で、地域住民との協働による施設の管理・運営を開始しました。

受付業務等に参加した住民 652人

実施イベント：あしあとイベント&マーケット ほか

(2) 地域まちづくり計画の推進

- ・地域まちづくり計画の策定や事業の推進に向けた支援に取り組みました。

策定した学区（町）数 24学区（町）

事業推進を支援した学区（町）数 29学区（町）

(3) まちづくりサポートセンターを核にしたネットワークづくり

- ・登録制度の活用によりボランティア・NPOなどの活動を支援しました。（登録数：139団体・企業）



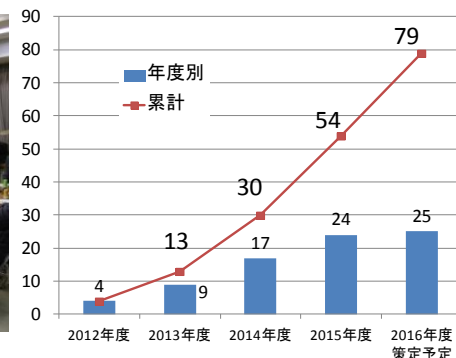
【はきもの資料館オープニング】



【多様な主体のネットワークづくり】
（「まちサポ」登録団体交流会）



【まちの将来像を描く
「地域まちづくり計画」】



【年度別「地域まちづくり計画」
策定学区数】

【成果】

- 地域・大学・行政が松永はきもの資料館の管理・企画・運営に携わるなど、地域資源を生かしたまちづくりが進んでいます。
- 「地域まちづくり計画」に基づき、地域の特性や実態に応じたまちづくりが進んでいます。
- まちづくりサポートセンターによるNPOなどの情報発信やマッチング（仲介）、まちづくりへの参画の場の提供などにより、多様な主体のネットワークが形成されています。

100万本のばらのまちづくりの推進(決算額:210,572千円)

担当課:市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課
建設局都市部公園緑地課
保健福祉局長寿社会応援部高齢者支援課

【2015年度(平成27年度)に取り組んだこと】

(1) ばらの植栽サポートプロジェクト

- ・「福山ばら大学(第六期)」や老人大学の「ばらづくり講座」において、地域のばら栽培のリーダーを養成しました。(77人養成,延べ437人)

(2) 新たな名所,拠点となる場所の創出プロジェクト

- ・ローズロードの整備(ばら花壇設置,ばらの植栽,バナー,路面標示の設置など)を行うとともに,ローズロードの沿線の地域住民等によるばら花壇整備やプランター設置などを支援しました(6団体)。
- ・ばら公園,春日池公園のリニューアルや中央公民館跡地の整備など,ばらのシンボルとなる拠点の整備に取り組みました。

(3) 花だけじゃない!ばらのアピールプロジェクト

- ・ばらのまち福山イメージキャラクター「ローラ」が市内外のイベントなどに参加し,来場者にばらのまち福山をPRしました。

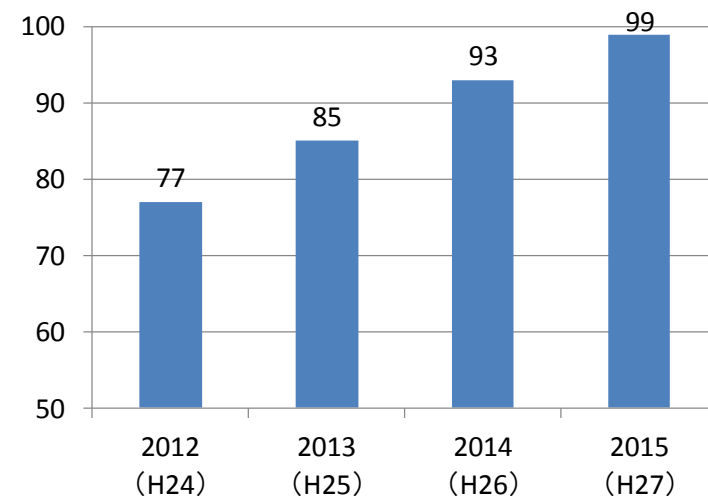
(4) 全市を挙げてみんなで取り組むプロジェクト

- ・新生児の誕生や小学校新1年生の入学,新築住宅の購入者にばら苗配布を行い,家庭でばらに親しむ環境づくりを進めました。



【ローズロードの整備(バナー,路面標示,花壇)】

(万本)



【ばらの植栽本数の推移】

【成果】

- 市内のばらの本数:約99万本
- 福山ばら大学などの講座を通じ,地域でばらを育てやすい環境づくりが進んでいます。
- ローズロードやばら公園などのばらの拠点の整備,地域住民によるばら関連の事業実施によって,ばらのまち福山ならではの魅力づくり,身近にばらに親しめる環境づくりが進んでいます。

福山駅周辺の中心市街地の魅力の創出(決算額:300, 104千円)

(うち、再掲分 161, 413千円)

担当課：経済環境局経済部産業振興課
文化観光振興部観光課
建設局土木部幹線道路課
都市部公園緑地課

ほか

【2015年度(平成27年度)に取り組んだこと】

(1) ひと(人づくり)

- ・市民主体の賑わい創出活動を支援することで、任意団体「フクノワ」の設置につながりました。

(2) こと(賑わいづくり)

- ・駅南北の回遊性を高めるイベント「えーほんdeまち歩き」などを開催しました。
- ・各団体が主催する秋のイベントの連携を図りました。

(3) もの(空間づくり)

- ・本通地域まちづくりとして、道路の美装化などの整備をしました。
- ・新たなばらの魅力づくりとして、ローズロードや花園公園の整備、ばら公園のリニューアルをしました。



【推進母体設置支援】



【フクノワによる社会実験(ドッグラン)】



【秋イベント(えーほんdeまち歩き)】



【秋イベント(うずみフェスタ)】

【成果】

(1) ひと(人づくり)

- ・フクノワ活動により、市内の団体が行う活動の活性化につながっています。

(2) こと(賑わいづくり)

- ・秋に開催した11イベントの連携など、四季のイベントを充実させたことにより、回遊性の向上を図り、賑わいの創出ができました。
(主なイベントの来場者数：えーほんdeまち歩き 5,450人、福山うずみフェスタ(中央公園会場) 20,000人、ルクシアタふくやま 17,000人)

(3) もの(空間づくり)

- ・本通商店街が実施するアーケード改修と合わせ道路の美装化を行い、本通地域を一体的に整備しました。(とおり町ストリートガーデン)
- ・ローズロード整備やばら公園のリニューアル整備など、ばらのまちならではの魅力創出と回遊性向上を図りました。



【本通地域まちづくり】



【ばら公園リニューアル】

里山里地の再生・保全(決算額:27,437千円)

担当課: 経済環境局農林水産部農林水産課
地産地消推進課 農業委員会事務局

【2015年度(平成27年度)に取り組んだこと】

(1) 里山里地の再生・保全活動に取り組む地域への支援

- ・里山里地地域(5地域(赤坂町, 山野町, 山手・津之郷町, 内海町, 熊野町))の主な取組として, 伐採木を利用した椎茸の生産, 耕作放棄地での小麦, そばの生産, いのしし防護柵設置, 竹炭の生産, 果樹苗植栽, 養蜂, 里山林の伐採・整備などを実施しました。
- ・耕作放棄地対策支援地区を新規に1地区指定し, 耕作放棄地の再生・活用・発生防止の支援を行いました。

(2) 市民等との協働による取組

- ・地域団体と協働で活動を行う「里山里地協力隊」の育成・支援を行いました。(登録者数248人, 活動数51回, 参加者延人数520人)



【赤坂町「椎茸のこま打ち」】



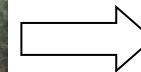
【内海町「草刈り作業」】



【耕作放棄地】



【再生作業】



【再生作業後】

【成果】

- 地域団体と里山里地協力隊との協働活動により, 地域資源を生かした取組が進むなど, 農山村地域の再生と活性化が図られています。
- 27a(アール)の耕作放棄地を解消しました。
- 魅力発信イベントの開催を通じて, 都市住民の里山里地への理解や交流が深まっています。

環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案 プロジェクト I いきいき環境・健康スローライフ(決算額:37,786千円)

(うち、再掲分 7,646千円)

担当課:保健福祉局保健部健康推進課
経済環境局農林水産部地産地消推進課
教育委員会学校教育部学校保健課

ほか

【2015年度(平成27年度)に取り組んだこと】

○「健康」を通じた地域活動

- ・運動普及推進員や食生活改善推進員の養成, 活動支援
(養成者数:運動普及推進員34人, 食生活改善推進員51人)

○食育・地産地消の推進

- ・学校や保育所給食への市内産農産物の使用を拡大しました。

○食品残さりサイクルの推進

- ・小学校の給食室から排出される給食残さを校庭に設置したコンポストへ投入し, 堆肥づくりに取り組みました。
(新たにモデル校5校を指定し, 10校で実施)

○新たな商品づくり

- ・新たな商品開発や販路開拓の取組への支援 (※再掲)



【食生活改善推進員による鯛うずみ試食会】



【給食残さりサイクルモデル事業】

【成果】

- うずみなどの郷土料理や学校給食への直接納入制度を通じて, 地産地消や食育の理解向上につながっています。

(福山うずみフェスタ来場者:中央公園会場 20,000人)

その他福山城公園会場でも開催)

(市内産農産物を直接納入している施設 小学校68校)

給食センター2所 保育所25所)

- 福山市走島の近海でとれた「ちりめん」を使用した新商品が開発されました。



【「ちりめん」を使用した新商品】

環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案 プロジェクトⅡ
環境にやさしく活力ある地域社会の構築(決算額:434,363千円)
 (うち、再掲分 100,589千円)

担当課: 経済環境局環境部環境総務課
 環境啓発課
 建設局都市部都市交通課 ほか

【2015年度(平成27年度)に取り組んだこと】

○エネルギーの地産地消・家庭や地域での温暖化対策

- ・住宅への太陽エネルギーの導入促進に取り組みました。
 補助件数 625件(太陽光 531件, 太陽熱 94件)
- ・環境教育, 環境学習におけるパートナーシップの構築に取り組みました。(環境教育・環境学習講師紹介 個人59人 事業者22社 団体10団体, ふくやま環境大学による人材育成 修了生30人)
- ・公共施設へ緑のカーテンを設置しました。(195施設)

○交通手段の変更

- ・ノーマイカー運動(ベスト運動)の推進(※再掲)
 (ベスト会員登録者数 20,100人)
- ・自転車走行空間の整備(※再掲)
 (御幸地吹幹線外3路線 整備延長 L=920m)

○環境観光の振興

- ・環境関連施設へのバス見学を行いました。(20回)



【公共施設への緑のカーテンの設置】



【自転車走行空間の整備】



【ベスト会員登録者数の状況】



【ベスト運動によるCO2削減量】

【成果】

- ベスト運動により, 二酸化炭素排出量を4,846トン削減しました。
- 歩行者と自転車の利便性・安全性の向上につながっています。

地域の特性を生かして学校と住民が連携して取り組む環境活動が全国表彰されました。

<受賞した環境学習推進校>

- 大谷台小学校
 - ・リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞 受賞
- 服部小学校
 - ・環境美化教育優良校等表彰 最優秀校 文部科学大臣賞受賞

21世紀を担う人材育成（決算額:2,729,097千円）

（うち、再掲分 85,840千円）

担当課：教育委員会管理部教育総務課 施設課
学校教育部指導課 ほか

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

○小中一貫教育の推進

- ・「福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針」及び「福山市学校規模・学校配置の適正化計画（第1要件）」の策定
- ・小中一貫教育カリキュラムに基づく授業実践
- ・副読本「大好き！福山～ふるさと学習～」を活用した、福山の歴史・文化・産業等の学習の実施
- ・（仮称）輛小中一貫校の実施設計 ほか

○学校施設の耐震化

- ・屋内運動場整備(10校),校舎改修(23校),天井落下防止対策(2校)

○通学路の安全対策（※再掲）

○地域学習活動の支援（土曜チャレンジ教室）

- ・6会場（5中学校区）を新設（合計22会場）
- ・参加型学習イベント「R i Mワークショップ」の開催



【自ら考え学ぶ授業】



【地域に出かけて取り組む「大好き！福山～ふるさと学習～」】



【（仮称）輛小中一貫校の実施設計】



【御幸小学校耐震補強工事】

【成果】

○小中一貫教育の推進

- ・「教師が教え込む授業」から「子どもたちが自ら考え学ぶ授業」へと転換する取組が進んでいます。
- ・ふるさと「福山」への愛着と誇りの醸成につながっています。

○地域学習活動の支援（土曜チャレンジ教室）

- ・児童生徒の学習習慣の定着につながっています。（アンケート結果：9割以上が「学習習慣が身についた」など肯定的な回答）



【通学路の安全対策】



【土曜チャレンジ教室の様子】

“持続可能なまち”を創るための人材育成ネットワーク (決算額:11,987千円)

(うち、再掲分 3,151千円)

担当課：市民局まちづくり推進部生涯学習課
協働のまちづくり課
総務局総務部危機管理防災課
経済環境局環境部環境啓発課 ほか

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

○「学び・気づき・考える」機会の提供（4講座）

地域づくりへの関心を高めるための講座を開催しました。

- ・都市ブランド推進講座，ふくやま人権大学 ほか

○実践的な知識や技術の提供（7講座）

地域でのまちづくりにおいて必要な知識や技能を身に付ける専門講座を開催しました。

- ・青年のまちづくり参画推進講座，キラキラサポーター（子育て支援ボランティア）養成講座 ほか

○市民の活躍のステージ（4講座）

修了者の活躍の場として，講座運営の協力や講師等の実践的な機会を提供しました。

- ・福山防災大学，ふくやま・まちづくり大学，ふくやま環境大学，福山ばら大学



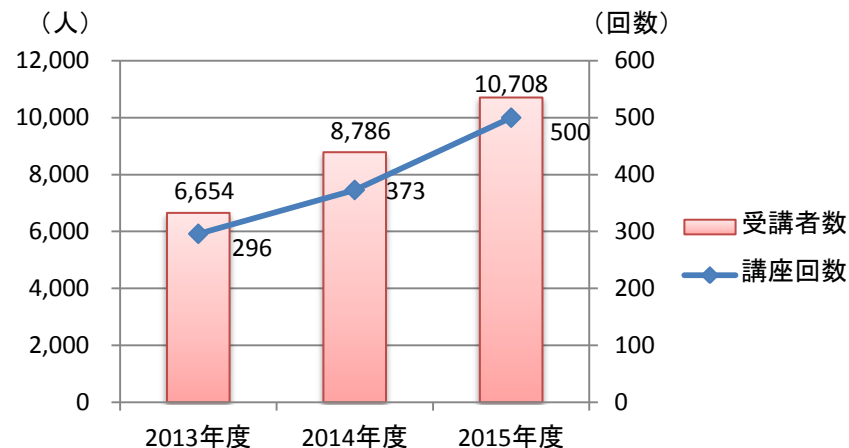
【ふくやま・まちづくり大学
(ステップアップ講座)】



【ふくやま環境大学（施設見学）】

【成果】

- 行政の出前講座の講師や講座の企画・運営に参画する人が増えています。
- 各種養成講座を通して，まちづくりの原動力となる市民の理解が深まっています。（延べ500回，延べ10,708人）



【講座回数と延べ受講者数の推移（2013年度～2015年度）】

市制施行100周年記念事業の推進(決算額:172,900千円)

担当課：総務局総務部100周年事業推進室

期 間 2014年度（平成26年度）～ 2016年度（平成28年度）

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

（1）プレイベントの実施（2015年（平成27年）1月～12月）

市制施行100周年に向けた機運を高めるため、記念事業のプレイベントを実施しました。

- ・100周年記念日へ向けたカウントダウンイベントの実施
- ・次の100年を担う子どもたちが夢に向かってチャレンジする「夢・未来プロジェクト」の実施（採択件数：個人2件、グループ2件）
- ・100周年記念映画「探偵ミタライの事件簿 星籠の海」の制作支援・PR

（2）100周年事業の実施（2016年（平成28年）1月～）

- ・～スタート100～福山とんど祭りの開催（参加者：約30,000人）
- ・「ローズマインドふくやま」（100周年記念ばら）の決定
- ・市制施行100周年記念大会第35回ふくやまマラソンの開催
- ・「次の100年に伝えたい、残したい福山の誇り」（福の山百選）を市民投票により選定（投票総数：24,095票）



【～スタート100～福山とんど祭り】



【夢・未来プロジェクト
プレゼン大会】



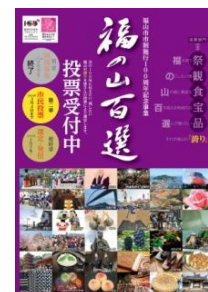
【カウントダウン365】

【成果】

○プレイベントの実施を通じて、市民全員参加による、市制施行100周年に向けた機運の醸成につながっています。



【2016年に100周年を迎える3市による
PR（福山市、岡崎市、尼崎市）】



【福の山百選】

鞆地区町並み保存(決算額:53,322千円)

担当課：教育委員会管理部文化財課

期 間	2007年度（平成19年度）～	数 値 目 標	町並み保存事業補助件数 6件
		数 値 実 績 (2016年3月末)	町並み保存事業補助件数 11件

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

○町並み保存事業補助

町並み保存地区内の建造物などの修理・修景を支援し、歴史的景観の整備を進めました。

- ・補助件数 11件（修理 10件，修景 1件）

○町並み保存の啓発

住民が町に愛着や誇りを持てるよう、鞆の町並みの魅力などについて分かりやすい内容の講演会を行いました。

- ・「鞆 町並みの魅力」 参加者数 約80人



【修理前】



【修理後】

【成果】

○市単独の補助事業により、貴重な文化財である鞆の町並みを守っています。（2015年度（平成27年度）までに77件の事業を実施）



【講演会の様子】

鞆地区まちづくりの推進（決算額：242,662千円） （うち、再掲分 85,744千円）

担当課：建設局都市部都市計画課 総務局総務部総務課
教育委員会管理部学校再編推進室 文化財課
消防局警防部警防課 上下水道局工務部下水道建設課

期 間	2005年度（平成17年度）～
-----	-----------------

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

- (1) 鞆支所・鞆公民館の再整備（2016年（平成28年）7月供用開始）
支所機能，公民館機能，観光交流機能などを併せ持つ鞆地区の玄関口にふさわしい地域の交流拠点施設として，鞆支所・鞆公民館の再整備を進めました。
- (2) 耐震性貯水槽整備
木造建物が密集し，道路が狭隘な鞆地区の地理特性を踏まえ，震災時の断水時などにも有効な耐震性貯水槽を鞆中央公園に整備しました。
- (3) 公共下水道整備
快適で衛生的な生活環境を確保するため，計画的に汚水管渠の整備を行いました。
- (4) （仮称）鞆小中一貫校の整備（※再掲）
小中一貫教育の推進に向け，小中一体型モデル実践校として，実施設計を行いました。
- (5) 鞆地区町並み保存（※再掲）

まちづくりの目標

- 安全で快適な生活環境の整備
- 歴史・文化と地域生活の調和
- 活力ある地域社会の構築



【鞆支所・鞆公民館】



【小中一貫教育の推進】



【鞆の町並み】

【成果】

○鞆地区の再生・活性化に向け，生活環境の改善や防災機能の充実，歴史的景観の保全につながっています。

都市ブランド戦略の推進(決算額:34,071千円)

担当課：経済環境局文化観光振興部ふくやま魅力発信課
文化課 経済部産業振興課

期 間 2014年度（平成26年度）～

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

（1）都市ブランド戦略の推進

- 第1回福山ブランド認定品・登録活動を選定・発表し、販路拡大やPRに取り組みました。

（第1回福山ブランド認定品5件，登録活動6件）

- 福山の地域資源を活用した魅力の発信に取り組みました。

（2）「福山らしさ」の発信

- 「福山うずみフェスタ2015」を開催しました。

（来場者数：中央公園会場20,000人 ※他に福山城公園でも開催）

- 島田荘司選 第8回ばらのまち福山ミステリー文学新人賞を選定しました。（応募数：日本全国や海外から96点）

- まんが「福山を知ローゼ」の制作，販売に取り組みました。



【福山ブランド認定品PRの様子
(グルメ&ダイニングスタイルショー出展)】



【福山を知ローゼ
まんが物語 100年物語】

【成果】

○福山ブランド認定品・登録活動や福山ミステリー文学新人賞，福山うずみフェスタ2015などの取組を通じて，福山の知名度や魅力の向上につながっています。

○まんが「福山を知ローゼ」などを通して，子どもたちが福山の歴史に触れることで郷土への愛着や誇りをはぐくんでいます。

第2集『まんが物語 井伏鱒二』販売実績 114冊（累計1,062冊）

第3集『まんが物語 窪田次郎』販売実績 715冊

第4集『まんが物語 100年物語』作画製本 上下巻各5,000冊



【ばらのまち福山ミステリー文学新人賞
第8回受賞作発表記者会見】



【福山うずみフェスタ2015の様子】

戦略的な観光振興(決算額:16,997千円)

(うち、再掲分 6,005千円)

担当課：経済環境局文化観光振興部観光課

期 間	2015年度（平成27年度）～	数 値 目 標	総観光客数：710万人【2016年（平成28年）】
		数 値 実 績	総観光客数：726万人【2015年（平成27年）】

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

（1）インバウンドの推進

- ・外国人観光客をターゲットに、福寿会館を活用した体験メニューの開発やプロモーションビデオ，専用ホームページの作成を行いました。
- ・受入れのための人材の確保や育成を行いました。

（2）教育旅行の誘致に向けた取組（※再掲）

- ・内海町で体験型の民泊事業を展開するため，複数の学校を体験型修学旅行のモニターとして受け入れました。（3校 計54名）
- ・県内市町と連携し，関西や首都圏などの旅行会社へプロモーション活動を行いました。

（3）産業（環境）観光の推進（※再掲）

- ・産業関連施設などを巡るモニターツアーの実施，パンフレットやノベルティの作成，観光情報誌による情報発信などを行いました。

【成果】

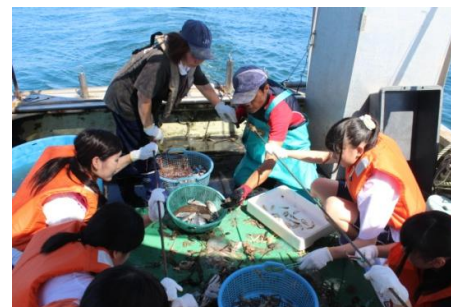
○観光メニューの開発や積極的な観光情報のPRなどにより，観光客数の増加につながっています。（対前年比：7.6%増）



【福寿会館から望む福山城】



【インバウンド体験メニュー（茶道）】



【民泊事業におけるモニター校受入れ時の風景】



【産業（環境）観光モニターツアーでの体験活動】

公共施設サービスの再構築(決算額:一千円)

担当課：企画財政局企画政策部戦略推進課

期 間 2011年度（平成23年度）～

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

- 建築物や道路、橋りょう等のインフラなど全ての公共施設等を総合的かつ計画的に管理することにより、公共施設等のサービスを将来にわたり適切に提供するための基本的な方向性を検討しました。
- 公民館やコミュニティセンター、ふれあいプラザなどの地域交流施設を再整備するための方向性を検討しました。



【成果】

- 社会の変化に的確に対応し、将来にわたり活力ある、持続可能なまちづくりをめざし、公共施設等の再構築・再整備を通して最適な公共サービスを提供するため、「福山市公共施設等サービス再構築基本方針」を策定しました。
- 地域住民の活動を支える身近なまちづくりの拠点を形成するため、「福山市地域交流施設等再整備基本方針」を策定しました。

公共施設の総合的かつ計画的な管理による 将来を見据えたまちづくり



競馬場跡地利活用の推進(決算額:73,924千円)

担当課：企画財政局企画政策部企画政策課
市民局まちづくり推進部スポーツ振興課 ほか

期 間 2013年度（平成25年度）～

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

○競馬場跡地利活用基本計画に基づき、競馬場跡地に整備する施設等の具体化に取り組みました。

- ・新総合体育館の基本・実施設計
- ・跡地周辺道路の実実施設計 など

＜総合体育館・公園の整備スケジュール（案）＞

2015年度（平成27年度）～2016年度（平成28年度）

施設整備に向けた計画・設計

2017年度（平成29年度）～2018年度（平成30年度）頃
工事着手

2019年度（平成31年度）頃～

総合体育館，公園等の順次供用開始



【成果】

○競馬場跡地が、市の将来の発展の礎となるとともに、市民にとって希望ある未来と心安らぐ豊かな暮らしが実感できるものとなるよう、具体的な取組が進んでいます。



やすらぎゾーン

水と緑の環境を生かした市民が誇れる魅力的な公園・広場・緑地空間を整備

スポーツ・健康ゾーン

市民が幅広く、気軽にスポーツ・健康づくりを楽しめる拠点として、老朽化した市体育館を建替え、全市的な位置付けの新たな総合体育館を整備

みらい創造ゾーン

次なる100年の福山の発展を見据え、人づくり・ものづくり・コトづくりにチャレンジする創造・交流の場づくりをめざす

【ゾーニング計画】



【やすらぎゾーン，スポーツ・健康ゾーン
施設配置イメージ】

産学官連携の推進(決算額:7,168千円)

担当課：企画財政局企画政策部企画政策課
経済環境局経済部産業振興課

期 間	2011年度（平成23年度）～
-----	-----------------

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

（1）大学との連携事業の実施（地域課題の解決）

- ・市と市立大学が共同で「協働のまちづくり」や「保幼小連携」などについて、調査・研究を進めました。
- ・福山大学との包括協定に基づき、「地元商品・特産品を使用した商品開発」や「ものづくり交流館の活用」などについて取り組みました。

（2）産学官連携の推進

- ・企業と大学等とのマッチングを促進するため、ビジネス交流フェアの開催や関連情報の共有などに取り組みました。（ビジネス交流フェア参加事業所数 132社，約244名）

（3）中小企業支援員の設置

- ・中小企業支援員を設置し，中小企業事業者が持つ事業課題の掘り起こしなどを行いました。
中小企業支援員の企業訪問回数 147回



【ワインPRイベント「ワイン列車」の様子】

【成果】

（1）大学との連携事業の実施（地域課題の解決）

ものづくり講座の開催やワインPRイベントなど，大学が持つ専門的技術を生かした地域活性化の取組が進んでいます。

（2）産学官連携の推進

近隣市町の企業を含めたビジネス交流フェアの開催や産学官連携ポータルサイトによる情報の共有など，産学官連携を推進する仕組みを充実・発展させています。

（3）中小企業支援員の設置

企業訪問やアドバイスを通じて，中小企業事業者の課題解決につながっています。



【中小企業支援員の企業訪問】

スマートIC(インターチェンジ)の整備(決算額:105,071千円)

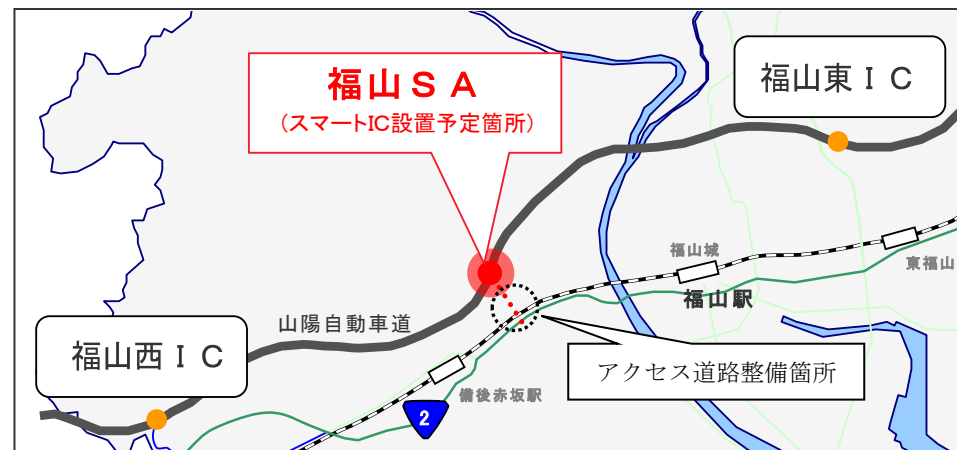
担当課：建設局土木部幹線道路課

期 間	2012年度(平成24年度)～2017年度(平成29年度)
-----	-------------------------------

【2015年度(平成27年度)に取り組んだこと】

- 福山SA(サービスエリア)スマートIC※設置に関する工事細目協定を、西日本高速道路㈱と締結しました。
- アクセス道路(津之郷4号線)の用地取得を行いました。
- 警察との協議や広島県、西日本高速道路㈱との連携・協議を行いました。

※「スマートIC」…ETCを搭載した車両専用のインターチェンジ



【(仮称)福山SAスマートIC完成予想図】

【成果】

- スマートICの本体工事に着手することになりました。
- アクセス道路(津之郷4号線)の工事に着手しました。



【上り線】



【下り線】

活力とにぎわいあふれる港づくり(決算額:5,467千円)

担当課：建設局土木部港湾河川課

期 間	2012年度（平成24年度）～ 2016年度（平成28年度）	数 値 目 標	年間コンテナ取扱量 約8万TEU(※)→13万TEU
		数 値 実 績 (2016年3月末)	2015年コンテナ取扱量 8万TEU ※ コンテナ取扱個数の単位。長さが約6mのコンテナが1TEUに相当する。

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

- (1) 「ふくやま港まつり2015」の開催（来場者数：約35,000人）
福山港の知名度向上を図るイベントとして、帆船「海王丸」を招致し開催しました。
- (2) クルーズ客船の誘致
福山港のブランド力の向上を図るため、クルーズ客船の誘致活動を行いました。
- (3) 企業訪問（ポートセールス）の実施など
混載貨物の補助制度を創設し、コンテナ取扱量の増加に向け、企業訪問などを行いました。



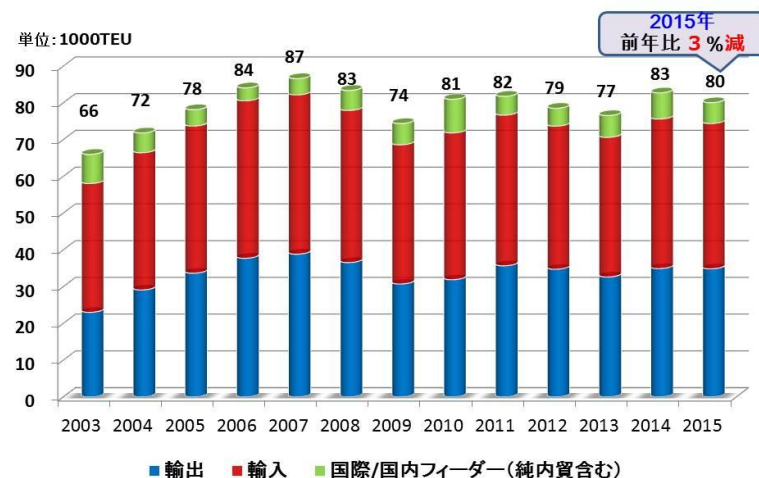
【ふくやま港まつり2015】



【クルーズ客船の誘致】

【成果】

○2016年（平成28年）5月に「ぱしふいっくびいなす」、2017年（平成29年）1月に「にっぽん丸」の2隻のクルーズ客船寄港が決定し、福山港のブランド力向上を図るなど、活力とにぎわいあふれる港づくりにつながっています。



【福山港コンテナ取扱量の推移】

消防・救急体制の整備(決算額:449,120千円)

担当課：消防局総務部総務課 警防部警防課

期 間	2005年度（平成17年度）～
-----	-----------------

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

(1) 消防車両更新整備

- ・高規格救急自動車を整備しました。（東消防署，芦品消防署）
- ・13mブーム付多目的消防ポンプ自動車を整備しました。（西消防署）

(2) 消防救急デジタル無線設備整備

消防救急デジタル無線設備（活動波）の整備を行いました。

(3) 消防救急デジタル無線設備整備（福山市消防団）

消防団車両などにデジタル無線設備の整備を行いました。



【高規格救急自動車】



【13mブーム付多目的消防ポンプ自動車】

【成果】

- 最新鋭の機能を装備した消防車両を整備し，様々な災害に対応できる体制の強化が図られました。
- 消防救急デジタル無線設備を整備することにより，確実性の高い通信システムの確保や常備消防機関と消防団の連携体制を更に強化することができました。



【消防救急デジタル無線設備】

上下水道施設の耐震化(決算額:581,428千円)

担当課：上下水道局工務部下水道施設課
施設部水づくり課 施設整備課

期 間	2007年度（平成19年度）～
-----	-----------------

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

（1）下水道管渠の耐震化（下水道）

防災拠点（市役所本庁舎）から流域下水道幹線まで、管渠の接続部の離脱やマンホールからの抜け出しを防止する工事を行いました。

延長 60.8m

（2）マンホールトイレ（災害時仮設トイレ）の整備（下水道）

広域避難場所（駅家公園）へ災害時に使用できるマンホールトイレ20基を整備しました。

（3）基幹配水池の耐震補強（水道，工業用水道）

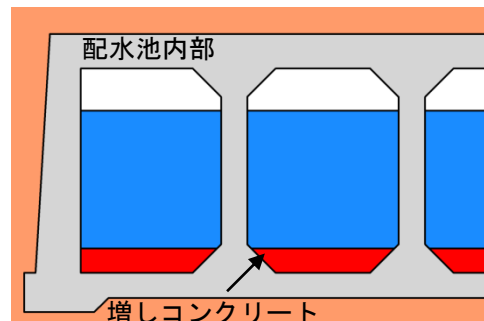
千田配水池・蔵王配水池の耐震補強設計を行いました。

（4）松永浄化センターの耐震・耐津波診断（下水道）

管理棟やポンプ棟の耐震・耐津波診断を行いました。



【下水道管渠耐震化工事（施工後）】



【配水池耐震補強工事】
（既存配水池底版に、コンクリートを打設し補強）



【マンホールトイレの整備】

【成果】

○災害に強い上下水道施設を計画的・効率的に整備することにより、上下水道機能の停止の抑制につながっています。

市街地の浸水対策(決算額:777,848千円)

担当課：上下水道局工務部下水道施設課

期 間	2014年度（平成26年度）～ 2016年度（平成28年度）
-----	--------------------------------

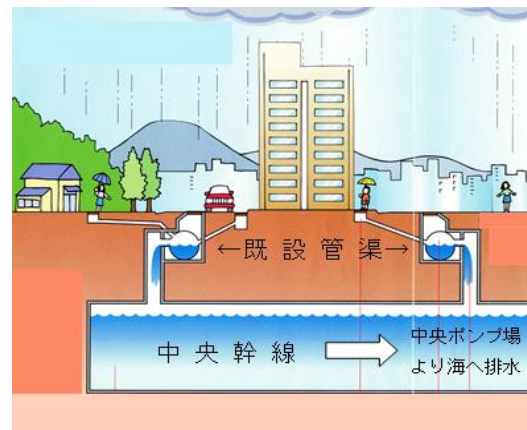
【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

○中央2号・中央5号幹線築造工事

西町・本庄地区の浸水対策として、西桜町一丁目から南本庄二丁目の地下に増補管を築造する工事を行いました。

- ・延長 1.3km
- ・口径 2,800mm

※増補管・・・既設管渠から越流した雨水を集水し、流末の中央ポンプ場へ送水する管渠



【中央幹線のイメージ】

【成果】

○中央幹線（増補管）を1.3km延伸することで、西町・本庄地区の都市型浸水被害が軽減されます。



【中央幹線築造工事のイメージ】

出原浄水場の更新(決算額:446, 256千円)

担当課：上下水道局施設部施設整備課

期 間	2010年度（平成22年度）～ 2015年度（平成27年度）
-----	--------------------------------

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

（1）計装設備の設置

浄水場の運転を管理するための計装設備の設置を行いました。

（2）場内整備

場内の造成やフェンスの設置などを行いました。

（3）場内配管の布設

浄水場の運転に必要な配管，場内給水管や雨水排水管の布設などを行いました。

（4）場内電気設備の設置

場内を管理するための電気設備の設置を行いました。

（5）監視カメラ設備の設置

浄水場の安全を確保するための監視カメラ設備の設置を行いました。



【出原浄水場】

【成果】

○施設や設備を更新することで、安心・安全で安定的な水道水の供給につながっています。



【出原浄水場更新事業完成式】



【出原浄水場完成見学会】

防犯環境の整備(決算額:39,096千円)

担当課：市民局市民部生活安全推進課

期 間	2014年度（平成26年度）～ 2016年度（平成28年度）	数 値 目 標	防犯カメラの設置 200台
		数 値 実 績 (2016年3月末)	防犯カメラの設置 184台

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

○地域や公共空間への防犯カメラの設置

自治会や事業者による防犯カメラの設置を支援するとともに、駅周辺等の公共空間に防犯カメラを設置しました。

<設置台数>

- ・自治会や事業者による設置 44台
- ・公共空間への設置 35台



【自治会や事業者による設置】

【成果】

○地域や公共空間に防犯カメラを設置することで、犯罪の発生を抑止するなど、住民の安心・安全の確保につながっています。



【公共空間への設置（主要交差点・駅など）】

歩道・自転車走行空間の整備(決算額:332,452千円)

担当課：建設局土木部幹線道路課
教育委員会学校教育課

期 間	2002年度（平成14年度）～ 2020年度（平成32年度）
-----	--------------------------------

【2015年度（平成27年度）に取り組んだこと】

（1）歩道のバリアフリー化

高齢者や障がいのある人などが移動の際に身体の負担が軽減されるよう、移動の利便性や安全性を高めるために、歩道のバリアフリー化に取り組みました。

- ・山手東手城幹線（南蔵王工区）外2路線 整備延長 L=500m

（2）通学路の安全対策

通学路の危険箇所について、学校、警察、道路管理者及び地域が合同で点検を行い、区画線による歩行空間の確保やカーブミラーの設置などの通学路の整備や交通指導に取り組みました。

- ・対策箇所 294か所

（3）自転車走行空間の整備

自転車と歩行者の双方が安全に安心して道路を利用できるように、自転車走行空間の整備に取り組みました。

- ・御幸地吹幹線 外3路線 整備延長 L=920m



【歩道のバリアフリー化】



【自転車走行空間の整備】

【成果】

歩行者と自転車の利便性・安全性の向上や通学時の児童生徒の安全確保につながっています。